

「うんのわ及び海野宿を軸とした
観光地域づくり」
に関する取り組み報告

いよいよ

[担当者] 掛川 礼央

[報告日] 2026年2月4日

自己紹介



出身：長野県小諸市

今まで他地域で観光業に携わり、イベントや広報、海外向けのPRなどをやっていました。

2025年7月より、海野宿滞在型交流施設「うんのわ」を拠点として、施設運営を支援しながら観光を通じた地域づくりに取り組んでいます。

東御市商工観光課
掛川礼央（カケガワ レオ）

ミッション「うんのわや海野宿を軸とした観光地域づくり」

2024年7月 市の古民家宿泊施設としてリニューアルオープン
客室数を2室から5室へ増室



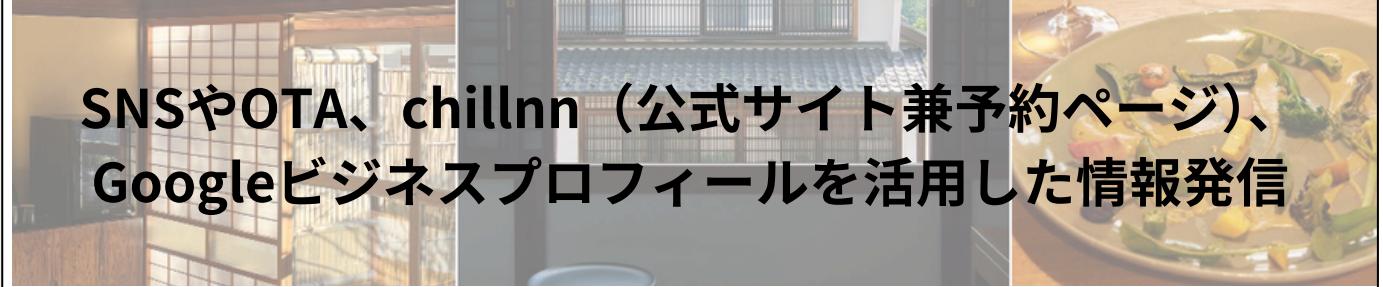
海野宿を知る・ 関わる入口としての役割

└宿泊をきっかけに、
町並み・人・
文化に触れてもらう

地域経済への波及

└周辺店舗・イベント
との接点づくり

この半年での活動報告

| 活動項目 | 内容 | 期間 |
|---|---|---------|
| 施設運営・受け入れ体制の整備 →安心して泊まれ、滞在を通じた体験価値を届ける体制づくり |  <ul style="list-style-type: none">・施設運営体制の協力・滞在中の会話を通じた体験価値の提供 | 毎日 |
| 発信 →滞在イメージを伝え、来訪につなげるため |  <p>SNSやOTA、chillnn（公式サイト兼予約ページ）、Googleビジネスプロフィールを活用した情報発信</p> | 毎日 |
| 活動実施 →協力隊の活動を共有し、具体的な連携や活用につなげるため |  <ul style="list-style-type: none">・協力隊報告会の実施・他協力隊との連携によるツアーでの宿泊地活用 | 10月 |
| 地域と一緒に動く取り組み →うんのわ単体で完結しない関係づくり |  | 11月～12月 |
| 視察 →他地域の事例から滞在型施設のヒントを得る |  | 12月 |

見えてきた手応えと課題

手応え

海野宿を知る きっかけ

宿泊をきっかけに、
海野宿を初めて知る来訪者が
増えている。

課題

平日・閑散期の集客

滞在中に地域の話をする機会
が生まれ始めている。

海野宿全体を巻き 込む仕組みづくり

平日・閑散期は宿泊・
来訪が少ない。
宿泊後の回遊や再訪につな
がる仕組みがまだ弱い。

これから

改善策

「泊まる理由」 の見える化

- ・宿泊者アンケートや口コミを通じた満足度の把握
- ・OTA（予約サイト）やSNSのアナリティクスを活用した動向分析
- ・データをもとに、滞在価値の改善と発信内容の見直し

滞在を起点とした 地域回遊

- ・宿泊を起点に、地域資源を組み合わせた滞在プランの検討
- ・スキーリフト券、温泉施設、体験コンテンツ等の活用可能性整理
- ・「泊まる前後に何ができるか」を具体的な形で提案

広報活動の拡充

- ・SNSを活用した日常の発信と滞在イメージの共有
- ・OTAでの情報整理・プラン内容の明確化
- ・chillnn（公式サイト兼予約ページ）を活用した情報発信と導線整備

全体の振り返り

リニューアル後半年、
うんのわを起点に「人と海野宿をつなぐ役割」を担ってきました。

お客様は物や情報に溢れる日常の中
本当の静寂や、日本らしい懐かしさを求めていらっしゃいます。
今まで400名以上のありがとうございます。

お客様が、癒され、また来たい、紹介したいと思えるような
「おもてなし」を引き続き目指していきます。